

暑熱対策と節電の両立を！

～節電でコスト削減を図りつつ、
暑熱対策で生産性向上に努めましょう～



今年も夏がやってきました。乳牛は暑さに弱く、暑熱ストレスによる生産性低下に加え、死廃事故を招くこともあります。また、夏期は飲用向け生乳の最需要期であるとともに、今夏の生乳需給はひっ迫することが見込まれているため、生産量の確保、乳質の維持の観点から、乳牛が快適に過ごせる環境づくりが大切です。

今夏は西日本を中心に、電力需給ひっ迫が見込まれています。生乳生産においては、搾乳や生乳冷却貯蔵など、電力は欠かせない生産手段のひとつであり、停電を回避するため、節電対策に取り組むことは重要であるとともに、節電によるコスト削減により経営にもメリットが生じます。

そのため、以下のポイントに心がけ、節電対策でコスト削減を図るとともに、暑熱対策で生産性向上に努めましょう。

<節電の具体的取組内容～すぐに取り組める4つのポイント～>

- ①家の中や事務所の冷房などの設定温度を見直す。
- ②使用していない電気機器のプラグをコンセントからこまめに抜く。
- ③空調機器や搾乳機器・バルクなどのメンテナンスで動作効率を改善する。
- ④暑熱対策において、つる性植物の利用による日除けや屋根への石灰塗布など、電気を使用しない、あるいは電力消費量の少ない対策を併用する。

この他にも

- ・牛舎内の照明をLED照明や高効率蛍光灯に変更する。
- ・太陽光発電パネルを設置する。

などもあり、無理のない範囲で導入を検討してみてもいいでしょうか。

注：取組に際しては、生乳の品質や生産性の低下を招かないよう、十分ご注意ください。

<万が一の計画停電実施時の留意点>

今夏の計画停電は「不実施が原則」となっていますが、一部地域においては、電源の脱落等万が一に備えた対応が進められています。

計画停電が実施された場合、機器を使用した搾乳作業が出来ないことに加え、バルクでの冷却・冷温貯蔵が出来なくなることから、生乳中の細菌数増加が懸念されます。また、クーラーステーションや工場は停電になると、生乳の受入が出来なくなるため、停電が実施されていない地域においても、集乳時間の変更等が生じることも考えられます。

そのため、万が一のことを考え、生乳の品質を確保する上での可能な対応を想定しておく必要があります。

暑熱対策の3つのポイント



飼料摂取量の減少防止と不足栄養分を補給しましょう！

- ・ 新鮮な水を十分に給与する。
- ・ 品質の良い粗飼料を給与する。
 - …消化率の高い粗飼料の給与、切断長を短く給与回数を増やす。
- ・ 飼料の変敗を防止する。
 - …飼料の適正管理、飼槽を清掃する。
- ・ 塩分、重曹などミネラル等を補給する。

牛舎内の温度上昇防止と湿気、アンモニアの排出に心がけましょう！

- ・ 牛舎の風通しを良くする。
 - …窓の開放、壁に開口部の設置、障害物の撤去、密飼いをしない
- ・ 屋根を断熱、冷却する。直射日光を遮る。
 - …屋根を白く塗装（石灰塗布など）、屋根への撒水、スプリンクラーを設置する。日除け・ひさし（つる性の植物を植えて緑のカーテンを作るなど）を設置する。
- ・ 牛舎の周囲に水を撒く（打ち水）。

牛体からの放熱の促進に努めましょう！

- ・ 毛刈りをする。削蹄する。
 - …全体の毛刈りが無理な場合は、上半身や腹部など一部を毛刈りする。
 - 定期的な削蹄、牛床のクッション性の確保など牛の快適性を改善する。
- ・ 牛体に送風する。
- ・ 熱放散を妨げないように牛体の汚れを落とす。



乳牛の生産性の維持・向上とともに、経営全体のコスト削減に向けて、
夏場の飼養管理を改めて確認しましょう！